



にしなす ケアネットとは？

地域から自治会役員・民生委員・福祉的な活動をしている方、行政・医療・介護・障害・児童分野の事業所等の多種多様な出席者が、事例などを通じて地域課題について話し合ったり勉強会を行っています。

第24回 3月25日 「活動報告会」

にしなすケアネット～参加者の思いから始まった活動報告会～

にしなすケアネットは、毎回様々なテーマを取り上げています。話し合いの中から地域に「あったらいいな」ということが挙がった時には、そのことの具現化に向けた検討会や具体的な活動を展開しています。今回は4つの活動について各団体から発表していただきました。

- ① オレンジドアにしなす 飯島恵子氏
「認知症になってもダイジだよ ～わたしたちのホントの居場所～」
 - ② あおぞらのいす(ひきこもり不登校支援の会・相談会) 児玉幸弘氏
「ひきこもりとか不登校って悪いことなの？」
 - ③ 中央地区こども“夢”くらぶ 鈴木博氏
「まち中に集い、学び、遊び、食べて、子どもと一緒に育つ場を作ることを目指して」
 - ④ 交通問題を考える会 下山綱吉氏 他
「みんなで創る にしなすの地域交通(ミライ)～」
- これらの活動に関心のある方は事務局までお問合せください！！

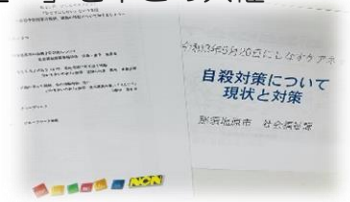
第25回 令和3年5月20日 「ひとりにしない」という支援

～自殺予防対策の現状、遺族の活動について知りましょう～

にしなすケアネットは、「まずは知ることから」気づきを大事にしています。今回のテーマではそれぞれのお立場の3名から現状や思いをお聞きし、多くの気づき、学びが深まりました。

8月26日には「心の危機に向き合う ～ゲートキーパー養成講座～」を市との共催で開催しました。

- ① 那須塩原市社会福祉課障害福祉係 金子春美氏
「那須塩原市の自殺予防対策について」
- ② 分かち合いの会in那須世話人代表 黒崎史果 医師
「会を立ち上げたきっかけ、自死遺族に寄り添う活動」
- ③ 分かち合いの会in那須 自死遺族の集い「りんどう」 矢野目昌子氏
「活動に至った経緯、会の活動、思い」



参加者
から

・個々人の問題から社会的な問題=私たちの問題となった。身近に感じるとともに向き合っていかなければならないと感じた。
・もし自分が遺族側になったら、「なぜ相談してくれなかったのか」と考えてしまうと思う。今回、自殺について話を聞くことができ、自分にとって大きな一歩となった。ご遺族が話をしやすい雰囲気を作ることが大切だと思う。

○第26回 7月29日 「お一人様でも大丈夫!？」

～身寄りのない方の支援を考えよう～

令和3年7月29日に第26回にしなすケアネットが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため今回も国際医療福祉大学病院講堂の会場とオンライン（ご自宅や職場、狩野公民館・大山公民館）での開催となりました。お一人様でも大丈夫!～身寄りのない方の支援を考えよう～と題して行われ、一般社団法人わんだふるライフ代表岸友和氏から、身寄りのない方の問題（65歳以上の一人暮らしの増加や無子の高齢者の増加、入所・入院・逝去後の対応等）についてのお話や身寄りのいない高齢者の事例を基に各グループで事例検討を行いました。グループワーク後、OWL Tochigi LLC 代表でもあり、栃木県社会福祉士会副会長松本裕行氏からグループワークで出た意見について、権利擁護の視点での対応の仕方についての見解をいただきました。



○番外編 8月26日 ～ゲートキーパー養成講座～

「那須塩原市」と「にしなすケアネット」の共催による、自殺対策強化事業「ゲートキーパー養成講座」を開催しました。緊急事態宣言期間中のため、オンラインでの開催としました。

『心の危機に向き合う』という内容で、栃木県カウンセリング協会理事長の丸山隆先生をお招きし、熱い講演をいただきました。

教えていただいた「命を大切に」ではなく

「あなたが大切だ」、「あなたに生きていてほしい」というメッセージをつたえていきたいと思えます。

そして、支援者も一人で抱えないことが大切であることも。

コロナ禍で不安も大きい中、夏休みが明け徐々に登校する子どもたち。見守りが大切な時です。

地域みんなで見守っていただけたいと思います。

那須塩原市・にしなすケアネット共催
後援：栃木県カウンセリング協会

日程
日時：令和3年8月26日（木）
13：30～15：30
開催方法：オンラインのみ
となりました

内容
『心の危機に向き合う』
講師：丸山 隆先生
(栃木県カウンセリング協会理事)

**那須塩原市
ゲートキーパー
養成講座**

ゲートキーパーって？
自殺の危機を示すサインに気づき、適切な支援がなされること、これが「ゲートキーパー」とも称される人のことです。

誰かの命を助けることは、自分自身の分業として多く費用が掛かっている。機会があっても助ける機会が、多くは限られており、その結果、支援プログラムが実施されています。

お申し込みは要員へ

主催：那須塩原市
TEL：0287-37-1685
FAX：0287-37-7656



☆次の約束が大切

- ☆感情の表出を援助...対象者を理解し共感して問題を明確にし、現実に向かわせる。
「死にたい」気持ちの受容 悲嘆作業(Grief Work) 問題の明確化...「あなたの中には今、～な気持ちがあるんですね」
- ☆対象者自身のリソース(資源)は...対象者の能力、性格、感情状態、活用できる人間関係
- ☆他の選択肢や情報を伝える...十分に聴き、落ち着いたら最終段階で各種機関等を紹介→精神科医、弁護士、相談所などのリファール先を提示一緒に解決策を考える



○第27回 9月30日

「新型コロナウイルス感染症 ～最新の動向と今後の対策について～」

国際医療福祉大学病院検査部長・感染症室長の高橋和郎医師から、「新型コロナウイルス感染症の最近の知見と感染症対策」についてお話があり、オンラインのみの実施にも関わらず、約100名が参加しました。参加者の質問にも答えていただき、医療福祉の現場や地域みなさんが活動するうえで重要な新型コロナウイルスの基本知識や感染対策について詳しく学ぶことができました！with コロナ時代の新しいライフスタイルを考える参考になりました。



○第28回 11月25日 ～『農×福』連携からみる障がい理解と地域活性～

発表者は

- ①「本市における農業従事人口の推移や農業と福祉を取り巻く課題」について
 - ・那須塩原市農務畜産課担い手支援係 広瀬 美香子係長
- ②「農業と福祉の連携について 取り組み（実践）を通して」
 - ・株式会社テトテ 大高 久尚取締役副社長
 - 寺澤 礼子 A型管理者
 - ゲストスピーカー テトテ利用者
 - ・NPO 法人ワーカーズコープのはら園
 - 芝本 沙南管理者

からの講演をいただき、その後、グループワークを通し活発な意見交換を行いました！

那須塩原市の農業や畜産と福祉を活かした地域づくりはとて可能性があり、すでに農福連携は進んでいます。

今回を契機に、さらに活発になっていくような具体的な動きを考えていきます！



○第29回 1月27日
にしなすの未来（ミライ）を考える
～『こども』が元気なまち にしなす～

今回は現代の子どもや子育て世代に必要な地域の居場所について学び、参加者 74 名で実際にどのような環境があったら良いかなど話し合いました！

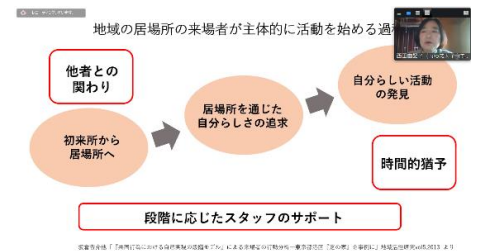
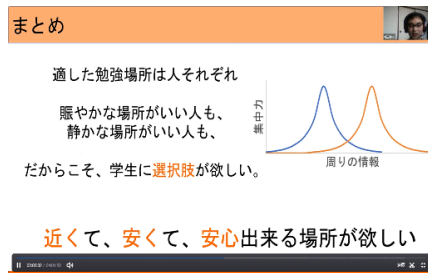
発表者は

①「現代の子育て環境」現状やあったらいいな
子育て応援 issho-w代表
家庭教育オピニオンリーダーたんぼぼ代表 高松真理氏

②学生が地域の中で安心して勉強できる環境とは
大学3年生 福田健心氏

総評：NPO 法人子育てほっとねっと 西田由記子氏

実現に向けては継続して地域の多様な方たちとの検討・実践が必要になります。みなさんと活動を続けていきます。



朗報！！！！

昨年9月1日～2日に、さわやか福祉財団主催の『いきがい・助け合いサミット in 神奈川』が開催されました。

にしなすケアネットを通じたみなさんの活動をポスターにして出展したところ全国 139 作品中、なんと第5位に！！！！

他の自治体の活動も、素晴らしいものばかりでしたが、その中で全国で5本の指に入る『にしなすケアネット』地域の皆さんの力を感しました！
今後も皆さんと作り上げていきたいです。



今後の予定

祝 第30回 3月26日(土)

【テーマ】那須塩原市×魅力+移住+新しい力

時間：13時30分～
15時30分
場所：国際医療福祉大学病院
5階講堂及びオンライン



Facebook

QRコード

〔事務局〕地域包括支援センターとちのみ

住所：〒329-2763 那須塩原市井口 533-20

電話番号：0287-37-1683 FAX：0287-37-7688